

昭和二十二年六月十二日（第三種郵便物認可）
令和六年八月十三日発行（毎月一回十三日発行）
定価 五〇〇円

第995号

龍

跳

第八十卷

9

月号

高知
龍跳書道会

竹
村
子
雀
書



学
道
則
愛
人

宣示表
せんじひょう

鍾繇
しょう しょう

尚書宣示孫權所求詔令
所報所以博示
逮于卿佐必異良方出於阿是
多羨之言可擇郎廟況繇始以
疏賤得為前思橫
族貶睨公私見異愛同骨肉殊
遇厚寵以至
今日再世榮名同國休感敢不
自量竊致愚

尚書宣示孫權所求詔令所報所以博示逮于卿佐必冀良方出於阿是多羨之言可擇郎廟況繇始以疏賤得為前思橫所貶睨

公私見異愛同骨肉殊遇厚寵以至今日再世榮名同國休感敢不自量竊致愚

「宣示表」賈似道刻本について

漢末から魏晉へかけて楷書が成立する時期に現れた鐘繇は、王羲之、張芝などと共にその書品は古来最高のものとして尊ばれてきた。宣示表は傳來する鐘繇の書の代表的な作品の一つであり、古来より著名である。この宣示表の眞跡は、西晉時代に楷書をよくし、鐘繇や衛瓘を師としてやまなかつた丞相王導の家に藏されていた。その後王羲之の所に傳わり、王羲之が王修に貸し、没後、棺の中に入れて葬つたため眞跡は滅んだ。後世の傳來するものは、王羲之の臨書を経たものである。

岡 本 志 峰 臨

憎而普度尊敬者
混善惡而咸矜

志峰

憎而普度尊敬者混善惡而咸矜

中 平 美 峰 書

君去春山誰共遊
鳥啼花落水空流

美峰

君去春山誰共遊鳥啼花落水空流

梅
川
桂
龍
書

關
河
霜
雪
清

關河かんが
霜雪清さうせつし

8月20日締切

梅川桂龍書

別離已
昨日

別離は已に昨日
すで さくじつ

9月20日締切

福
原
曉
雲
書

野
菊
心
淡

やまぐしうんたん
野菊秋心淡たり

福 原 曉 雲 臨

言可擇
郎廟

言可擇郎廟

江西澄翠書

天懸漢外三千
月滿刀闌幾百

岡林邦心臨

天不悔禍誰為荼毒
念不道殘百身何贖

邦心臨

水田紅子臨

吳江垂虹亭作斷雲一片
洞庭帆玉破鱸魚金

紅子

西山極山臨

書曰尔淮弗矜天下莫
与汝争功唯不伐天

松山

之隆園有為高而不
出下為仁生夫人

桂田山

大原桂園

芳者之世烟花盡
交俄驚美木也

市原處

市原處帥

智者之心自得自
然司市立宜

弘田賀

弘田賀峰

申之端揆者百察之師
長決侯王夫人臣

深瀬

深瀬緑堂

能任之通人應人
筆度名久澄和

鈴木輝

鈴木輝代

好作新詩繼桑葉
虹秋色滿東南

百々山

田村眉州

戒仁掌仁指了
近士衆數

降正 廿一人也

門田恵子

能保式未安也
古達見之昭可

鎌倉

鎌倉春葉

河紀紀而於墨園
筆相連何之為

天保

川崎志津

尚書宣示孫權所求詔
令所報所以博

坂本

坂本碧香

条幅当選作品

福原 曉 雲 選評

★天位

大原桂園君⇨今月作、筆力はあるが流れが今一歩か。
市原處艸君⇨筆力あるが墨量をもう少し取り入れ、

ホッとした作品を見て見たいです。

弘田賀峰君⇨単体作品だが、大胆さが欲しい。

深瀬緑堂君⇨流れ良し、やさしい争座位作品、これに筆力が加われれば。

鈴木輝代君⇨王鐸の流れ見て楽しい。今後線の鍛錬を望みたいです。

★地位

田村眉州君⇨米芾の作品なかなかの良い作品です。
門田恵子君⇨布置章法良し、後は大字の筆力をつける事。

鎌倉春葉君⇨墨量も取り入れ大胆作、この調子で。

★人位

川崎志津君⇨筆捌き達者なのに、半紙、条幅共大きい文字を願いたいです。

坂本碧香君⇨良く頑張った素直な作、今後おおいに臨書作で勉強して、臨書名を忘れずに。

作品は毎月20日必着
(必ず守って下さい)

▷ 次回審査会 ◁

8月の審査は25日(日曜)午前9時30分に開始
します。審査会場は高知城ホールです。

※審査終了後、県展作品勉強会を行います。(参加費500円)

言表 語現

9月20日締切

中学一年課題 廣末幽念 書

技科学 術学

9月20日縮切

大体育会

9月20日締切

小学五年課題

隅田亘心書

高足音

9月20日締切

山秋 の

9月20日締切

夕日

志

9月20日締切

小学一年・ようち・ほいく課題

大八木 洋 女 書

ア
バ

9月20日締切

学校名									
五年									
級段									
氏名									
	の	岳	シ	シ	そ				
	家	の	が	が	わ	知			
	に	ふ	り	り	れ	り			
	集	も	の	に	て	合			
	ま	と	の	出		い			
	り	の	人	か	わ	の			
	ま	、	々	け	た	か			
	し	大	は	ま	し	り			
	た	造	、	し	は	ゅ			
	。	じ	み	た		う			
		い	な	。	イ	ど			
		さ	栗	イ	ノ	に			
		ん	野	ノ	シ	さ			

書

初夏の里山は、緑いっ
ぱいの、とてもうつくし
い世界です。イネが元気
に、すくすくとそだち、
さしい風にふかれて、
れています。

がっこう	え	か	す	も	ら
	っ	あ	て	ら	を
二	ち	さ	き	い	
ねん	ゃ	ん	な	ま	見
きだ		に		し	て
きゆう	ん		ぼ	た	
なまえ	は		う	っ	ご
		赤	し	う	ら
	お	い	を		ん

がっこう		ふ	あ	し	
		き	つ	こ	ぬ
一		だ	あ	し	る
ねん		い	つ	こ	り
きだ ゆうん		こ	の		
なまえ		ん		た	わ
			ふ	こ	か
			ろ		め

令和六年十一月号からの規定課題

（李白「送張舍人之江東」）

〔大意〕

張翰江東去

張翰 ちやうかん 江東に去る かうとう

正值秋風時

正に秋風の時に値う まさ しゅうふう あ

天清一鴈遠

天清くして一雁遠く てんせい いちがん

海闊孤帆遲

海闊くして孤帆遅し ひろ こはん

白日行欲暮

白日行くゆく暮れんと欲し はくじつ ゆ ほつ

滄波杳難期

滄波杳として期し難し そうはよう き がた

吳洲好見月

吳洲 好し月を見ば ごしゅう よ

千里幸相思

千里幸いに相思え せんりきわ あいおも

君が江東へ去っていくこの時は、

秋風の立つ時期に当たっている。

秋の空は澄みきって一羽の雁が遠ざかっていく。

広々とした海に、一そこの船がゆっくり進んでゆく。

日はだんだん暮れようとし、

青い波は、定めがたい旅の日程のようには、はるかに
ぼんやりとしている。

願わくは、もし君が吳の国の岸辺で月を見たら、

私もこの月を見ているだろうと思ってくれますように。

草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華
草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華
草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華
草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華	草木歳 月晩 芳華

(一・二段目) 廣末幽念 選評
桂園君 見事な書きぶりです。のびのある良い線です。
里華君 線が強く、まとめ方も良い。
恵花君 よくこなれた感じで筆の扱いがうまい作。
百合君 確かな書きぶりで落ちついた良さが感じられる。
孝北君 線伸びやかで心地良い。
花道君 力みなく温和な作。すばらしい。
(二・三段目) 岡崎緑水 選評
碧香君 厳しい線で安定感を感じる。
幽雅君 線に温かみあり温和な作。
佳月君 強く明るい作。線に大小があれば尚よくなる。
啓助君 基本点画がしっかり書けている。
隆志君 小粒だが筆力充実し、堅実な書。
(三・四段目) 野島桂山 選評
紫秋君 線はよく伸びてバランスも良い。
美邦君 やさしく真面目な作。月の文字研究を。
美草君 堅実な書きぶりに好感がもてる。
律子君 気負なく温和な作。
知加君 力みなく伸びやかな作。
房君 無理なく線が伸びている。
(四段目) 岡林邦心 選評
志津君 きびしい線で明るい作。
美枝君 真面目に書いて良い。
美知子君 字々流れよくかけている。

承志 千鳥歌	母先意	如揭雲 美友吟	霧縠 美友吟	如揭雲	清不傷 寶舟法	月信交	於桂 美友吟	反玉執	不出 龍圖上	高当
射光 解代吟	与僕	与僕	射光 法信	与僕	疑或者 慈蓮信	裁然則	令所報 紅花吟	所求詔	素光 妙手歌	明月流
令所報 美友吟	所求詔	有周誕	命六 律子	有周誕	務而 倫子信	板走	鮮茂 美秋信	花葉	霧縠 慈蓮信	如揭雲
素光 斗子歌	明月流	公顏	真卿 虎之介信	公顏	所求詔	令所報 志津君	於桂 紀孝子	反玉執	素光 沖秋信	明月流

(一・二段目) 梅川桂龍 選評
桂園君 線の深さ、筆力共に兼ね備えた秀作。

恵花君 力みなく落ち着いた流れで安定した作。

容舟君 線質清澄、余白生きて可美喜君 大胆で大らかさが魅力。

千晶君 リズミカルで余白を生かした作。

明子君 筆使いが上手になりました。落款布置は一考。

(二・三段目) 前田秀華 選評
紅花君 淡々と爽やかな臨書。

悠道君 思い切りよく伸びやか。

淳君 大胆な運筆で線に味がある。

輝代君 楽に書かれて安定している。

啓助君 手慣れた作品で品格あり。

(三・四段目) 武内美仁 選評
紫秋君 流れ円滑にて軽快な仕上が。

倫子君 重厚な線で余裕を感じる。

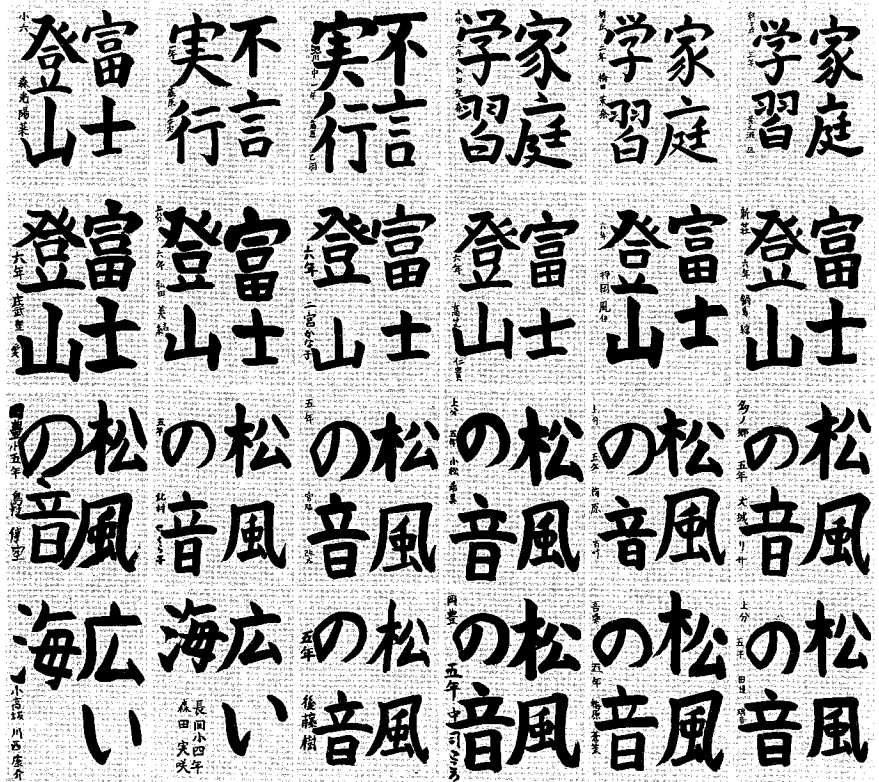
律子君 字々明るく、力みなく良くまとめている。

明美君 余白もとれ安定している。

伸枝君 筆圧、墨量の変化、共に上手い。

紀美子君 素直に書けて好感がもてる。

(四段目) 西山極山 選評
志津君 「宣示表」の雰囲気を感じてゐる。
虎之介君 規模大きくのびやかに書けてゐる。
斗子君 現級でよく書けている、今後がたのしみ。



(一段目) 中学部 大八木洋女 選評

風 君 力強い線で作品を仕上げています。

美奈君 力強い線でスッキリとした作品です。

聖奈君 大きく元気な作品です。

乙羽君 元気な作品。少し墨が滲みがちです。

杏実君 終筆に気を込めてみて下さい。

(二段目) 小学六年 中平美峰 選評

陽菜君 のびのびと書いてまとまっています。

綜 君 よくまとまっています。

風佳君 最初に書いています。

仁貴君 堂々とよくまとめました。

かな子君 元気よく書きました。

美結君 のびのびと書きました。

聖愛君 力強い線で堂々と書いています。

(三・四段目) 小学五年 深瀬緑堂 選評

リサ君 線がしっかりしています。

百叶君 のびやかで良い。

希美君 良くまとめました。

改太君 線強く堂々としています。

さくら子君 素直で最後までていねいに書いています。

倅空君 元気いっぱいです。

璃音君 柔らかい線で明るい。

蒼葉君 力強く書いています。

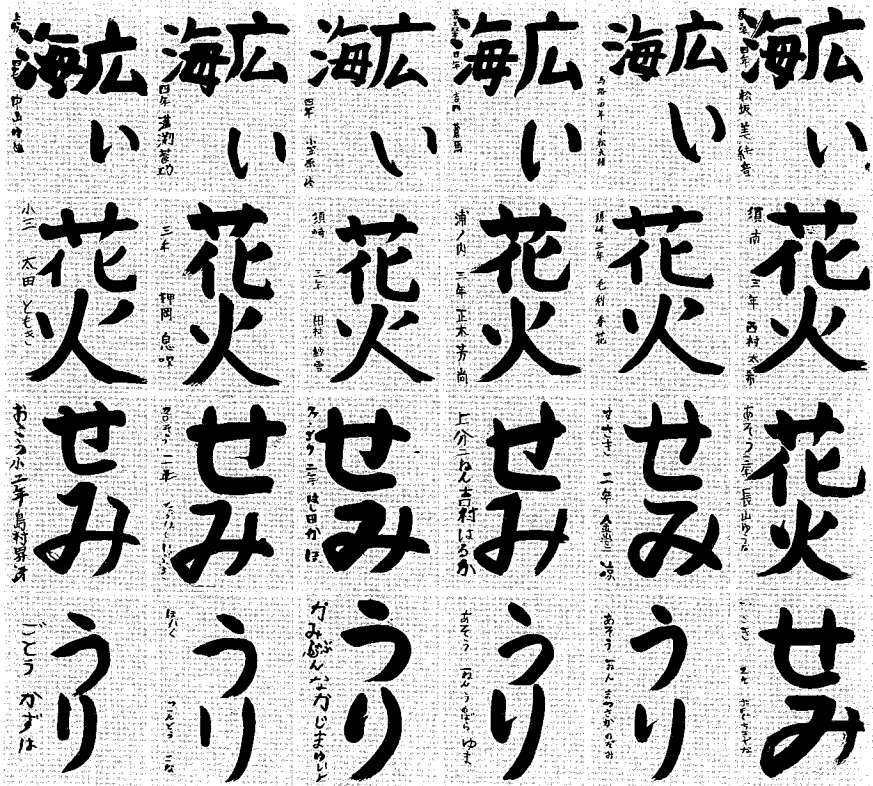
こころ君 堂々として落ちつきがあります。

樹 君 最初に良く書きました。頑張つて書いて下さい。

(四段目) 小学四年 河村容舟 選評

実咲君 線が強くよく書いています。

康介君 のびのびと書いています。



(一段目) 小学四年

美緒音君 力強く書けました。

太緒君 最初に明るく書けました。

蒼馬君 落ちついて良く書けました。

凌 君 最初にで大らかです。

蒼功君 元気で明るく書けました。

結愛君 最初に書けました。

(二・三段目) 小学三年

太希君 堂々と大きく書けました。

香花君 「火」の字がゆつたりと書けています。

芳尚君 とてもものびやかで良い。

紗雪君 最初にいていねいに書けています。

息吹君 力強く書けています。

朋希君 動きのある作品です。

優奈君 思いきりがあり力強い。

(三・四段目) 小学二年

涼 君 おちついてかけています。

はるか君 いていねいにかけています。

かほ君 元気にかけています。

いぶき君 のびのびとかけています。

昇河君 お手本をよくみてかけています。

さずな君 力いっぱいにかけています。

(四段目) 小学一年

のぞみ君 力よくじょうずにかけています。

ゆま君 のびのびとじょうずにかけています。

ゆいと君 ほんしいつぱいにげんきにかけています。

かな君 おおらかにかけています。

かずは君 いていねにじょうずにかけています。

別役美佐 選評

佐竹江月 選評

新莊 鍋島 綜
初月 川瀨 結衣

クラスがえがあつた。休み時間をいっしょに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人かの友達ができた。けれど、ときどきうすうす寒いような心持ちになる。

新莊 鍋島 綜

クラスがえがあつた。休み時間をいっしょに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人かの友達ができた。けれど、ときどきうすうす寒いような心持ちになる。

初月 川瀨 結衣

クラスがえがあつた。休み時間をいっしょに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人かの友達ができた。けれど、ときどきうすうす寒いような心持ちになる。

久礼 小八 八幡 泰

クラスがえがあつた。休み時間をいっしょに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人かの友達ができた。けれど、ときどきうすうす寒いような心持ちになる。

久礼 濱田 奏
長岡 高芝 仁貴

大谷北 倉持 陽向
多ノ郷 大城 リサ

クラスがえがあつた。休み時間をいっしょに過ごす人、教室の移動に連れ立って行く人、何人かの友達ができた。けれど、ときどきうすうす寒いような心持ちになる。

大谷北 倉持 陽向

「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされた、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだ。たのしかったですか。

多ノ郷 大城 リサ

「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされた、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだ。たのしかったですか。

須崎 五七 松田 菜乃

「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされた、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだ。たのしかったですか。

久礼 五七 森岡 虹

浦ノ内 森田 葵
別府 後藤 樹

「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされた、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだ。たのしかったですか。

浦ノ内 森田 葵

「おくのほそ道」は、松尾芭蕉が、旅を記した紀行文です。旅先で見聞きしたこと、心を動かされた、書きつづる気持ちは、今のわたしたちと同じだ。たのしかったですか。

別府 後藤 樹

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

須崎 五七 津野 聖佳

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

浦ノ内 森田 葵

久礼 笹岡 玲斗
大谷北 大木 陽智

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

久礼 大木 陽智

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

大谷北 大木 陽智

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

池川 小四 北村 日和

まだ戦争のはげしかつたころのことです。食べる物といえば、お米の代わり配給される、おいもや豆やかぼちゃしかありませんでした。

須崎 五七 毛利 香花

久礼 池川 日和
須崎 毛利 香花

須崎 田村 紗雪
江ノ口 下村 亜弥衣

ずぐりは、雪の上で回
して楽しむまでです。ず
ぐりは、雪の上で回して
遊ぶことが出来るように
心ばうの先が太く、丸く
作られています。

ずぐりは、雪の上で回
して楽しむまでです。ず
ぐりは、雪の上で回して
遊ぶことが出来るように
心ばうの先が太く、丸く
作られています。

ずぐりは、雪の上で回
して楽しむまでです。ず
ぐりは、雪の上で回して
遊ぶことが出来るように
心ばうの先が太く、丸く
作られています。

ずぐりは、雪の上で回
して楽しむまでです。ず
ぐりは、雪の上で回して
遊ぶことが出来るように
心ばうの先が太く、丸く
作られています。

上ノ加江 片山 ひまり
長岡 澤村 郁菜

すさき 金堂 涼
上分 吉村 はるか

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

うらノ内 山岡 みずき
おこう 中司 みのり

おこう 島村 昇弥
あそう まつさかのぞみ

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

風の ゆうびんや
さん。てどんな人
ぶつか。ほかに人
ぶつか。人ぶつか
出てくるのかな。

おおノごう さかもとみさき
うらノ内 よしおかまひろ

うらノうち みやた いと
ふぞく えがしらこう

どんな あじが
するでしよう。さ
うは、あまい
あじが します。

どんな あじが
するでしよう。さ
うは、あまい
あじが します。

どんな あじが
するでしよう。さ
うは、あまい
あじが します。

どんな あじが
するでしよう。さ
うは、あまい
あじが します。

かみぶん なかじまゆいと
すさき こんどう こな

第956回 競書成績

○印規定・随意共通昇級

条幅

審査 福原 曉雲

(※印写真版)

★推薦

※江西澄翠
※岡林邦心
※水田紅子
※西山極山

★天位

※大原桂園
※市原處峰
※弘田賀峰
※深瀬緑堂
※鈴木輝代
大八木洋女
岩河里華
岩崎竹山
岩谷紅花

★地位

※田村眉州

※門田惠子
※鎌倉春葉
伊吹悠道
西平仁子
大野美賀
横山星舞
濱崎洋堂
中平美峰
河村容舟
吉永光翠
広田秋桜
大石千施
横山桂華
今井真理
藤原朱鳳
橋本祝子
山本恵歩

★人位

※川崎志津
※坂本碧香
武政幽雅
山脇佳月
大井淳
横田紫陽
大崎紫陽
西村芳香
岡田雄山

規定

審査 廣末 幽念

★師範

川口虎之介
中原康泉
津城恵華
田村和子
高橋美草
山崎隆志
佐竹江月

越知 大原桂園
須南 野中恵花
須崎 弘西澄翠
山田 弘田賀峰
久礼 奥堂皓月
山田 水田紅子
須崎 野島桂山
旭筆 大八木洋女
山田 岡林邦心
旭筆 河村容舟
波介 市原處雅
須崎 深瀬緑堂

佐川 井口花道
高知 桑原智子
旭筆 平井桂草
山田 岩崎竹山
山田 吉田深美
須南 西内仁子
大野見 森光望春
旭筆 西村芳香
旭筆 西森令泉
旭筆 天野喜泉
上川 佐竹江月
南田 鎌倉春葉
仁田 池田千晶
山田 門田惠子
越知 横山桂華
越知 岡田雄山
久礼 窪田碧泉
山田 窪田和子
仁田 大崎紫陽
吾桑 大崎花梢
山田 別役美佐
旭筆 藤原朱鳳
仁田 丸田宏子
高知 山西春草
吾桑 松浦明子
須崎 大平圭子
久礼 田村眉州
須南 氏原美泉
大野見 畝原和華
高橋朱鳥

審査 岡崎 緑水

★六段

久礼 坂本碧香
窪川 明石美桂
窪川 広田秋桜
須崎 岡村玉水
東洋 岩谷紅花
東南 小笠原廣峰
南洋 伊吹悠道
久礼 浪上理奈
旭筆 橋本祝子
大野見 下元玉泉

★五段

窪川 武政幽雅
窪川 山脇佳月
窪川 津野恵泉
窪川 大井淳
窪川 等原多嘉
窪川 中城康華
窪川 西村由香
窪川 鈴木輝代

★四段

佐川 西森啓助
旭筆 山崎隆志
旭筆 濱田順子
須崎 濱山星舞
大野見 高橋翠園

審査 野島 桂山

★三段

窪川 横田紫秋
香北 杉本美邦
高知 坪内倫子

★二段

窪川 高橋美草
仁田 品原律子
南田 林 隆光

★初段

馬路 金子知加
仁田 山上由利子
仁田 藤原勝子
仁田 掛水勝恵
仁田 西尾明美
仁田 後藤和美
仁田 吉村久美子
仁田 大原紀美子
仁田 前田伸枝
仁田 城尾 彩
久礼 濱田美恵子
多ノ郷 市川美香
東洋 松島利恵
審査 岡林 邦心

★一級

高知 川崎志津

須崎 松坂美枝
久礼 山中英男
馬路 久保可奈
馬路 芝 沙織
南田 田内史恵

★二級

須南 西村小百合
馬路 清岡奈津子
南田 山口虎之介

★四級

池川 〇川下久美
池川 〇鶴井未來

★五級

須南 〇小笠原香代

★新規

六級編入
浦ノ内藤田美知子

出品票の名前は楷書ではっきり書いて下さい。

★出品票は黒枠をきちんと切って下さい。
★臨書は出典名を記入のこと。

随意

審査 梅川 桂龍

★師範

大原桂園 野中恵花 河村容舟 岩河里華 江西澄翠 奥堂皓月 弘田賀峰 岡林邦心 水田紅子 西山極山 市原極艸 中平美峰 深瀬緑堂 岡本空仁 大八木洋女

★準師範

小野山美喜 池川千晶 松浦明子 西内仁子 森光望春 大崎紫陽 氏原美泉 戸田孝北 井口花道 吉田深美

審査 前田 秀華

★六段

天野喜泉 丸田宏子 山田百合 佐竹江月 西森令泉 鎌倉春葉 大平圭佐 別役美佐 山本恵歩 平井桂草 門田恵子 岡田雄山 田村和子 岩崎竹山 藤原朱鳳 大野美賀 横山桂華 窪田碧泉 田村眉州 山西春草 桑原智子 西村芳香 高橋朱鳥

★五段

大井 淳 鈴木輝代 笠原多嘉

★四段

西森啓助 濱田順子 浜 恵子 横山 惠舞 高橋翠園 山崎隆志

審査 武内 美仁

★三段

横田紫秋 坪内倫子 杉本美邦

★二段

品原律子 林 隆光

★初段

西尾明美 前田伸枝 大原紀美子 山本 房 濱田美恵子 市川美香 中内泰子

掛水勝恵 松島利恵

審査 西山 極山

★一段

川崎志津

★二級

○西村小百合

★三級

○川口虎之介

★五級

○山岡 斗子 ○小笠原香代

★新規

六級編入 藤田美知子

第89回毛筆成績

○印は昇級

中学部

審査 大八木洋女

三年

★特待生

朝ヶ丘黄之瀬 風

二年

★特待生

朝ヶ丘 橋田茉奈

★九段

上分 弘田聖奈

一年

★九段

鷲ヶ池 安井風葵

★七段

池川 藤原乙羽

★二段

仁淀 藤原杏実

小学部

毛筆六年

審査 中平 美峰

★特待生

多ノ郷 森光陽菜

★九段

新莊 鍋島 綜

★八段

長岡 押岡風佳

★七段

長岡 高芝仁貴

多ノ郷 森岡快晴

上分 朝比奈来夢

★六段

上分 弘田美結

★三段

別府 庄武聖愛

★二級

附属 三本晴士

毛筆五年

審査 深瀬 緑堂

★八段

多ノ郷 大城リサ

★七段

上分 梅原百叶

須崎 松田菜乃

★六段

上分 小松希美

長岡 宮脇改太

池川 鶴井香月

須崎 谷口核心

★五段

長岡北村さくら子 岡豊 島村幸空 多ノ郷 橋田天河

(出品票)

のり代

6年 月 幅
9 条

氏

名

臨書は出典名

★四段 上分 田邊璃音 長岡 竹内陽南子 須崎 田村拓海 上分 柳本稀衣 ★三段 吾桑 梅原蒼葉 岡豊 田所萌羽 ★二段 岡豊 中司こころ ★初段 別府 後藤 樹 毛筆四年 審査 河村 容舟 ★七段 長岡 森田実咲 ★六段 小高坂 川西康介 ★四段 吾桑 松坂美緒音 馬路 小松太緒 須崎 金堂莉李	吾桑 高橋蒼來 須崎 津野聖佳 ★二段 吾桑 吉門蒼馬 ★初段 長岡 小笠原 湊 長岡 西内明利 吾桑 宮崎穂花 ★一級 長岡 溝淵蒼功 ★五級 上分 ○中山結愛 毛筆三年 審査 佐竹 江月 ★五段 須南 西村太希 須崎 毛利香花 ★四段 浦ノ内 正木芳尚 須崎 田村紗雪	★三段 上分 梅原未來 ★二段 長岡 押岡息吹 多ノ郷 太田朋希 長岡 竹内伽菜心 岡豊 島村心遥 長岡 猪野光騎 ★初段 長岡 宮脇治太 多ノ郷 森光梨衣奈 ★一級 吾桑 長山優奈 ★三級 越知 ○藤崎華乃 ★七級 長岡 ○澤村郁菜 もうひつ二年 審査 別役 美佐 ★三段 須崎 金堂 涼	★二段 上分 吉村はるか 多ノ郷 森光れんたろう ★初段 多ノ郷 橋田かほ 吾桑 高橋依吹 しんじょう 中じまあやと 上分 はし田一か ★一級 岡豊 島村昇牙 岡豊 中司みのり 朝倉 根口心花 ★四級 須崎○谷口きずな ★九級 馬路 ○小松時生 もうひつ一年 審査 天野 喜泉 ★初段 吾桑 松坂望未	★六級 吾桑 ○梅原由葉 もうひつ ようち・ほいく ★一級 上分 なかじまゆいと ★五級 須崎 ○こんどうこな ★六級 ふたば○後藤和葉 ★七級 池川 ○鶴井遥都
---	---	--	--	--

(出品票) 低学年の生徒名も5字迄に。出来るだけ漢字を使用して下さい。

のり代		地	名	氏	名	段	級	のり代		臨は出典名	氏	名	段	級
6年	月定							6年	月意					
9	規							9	随					
第689回硬筆成績														
○印は昇級														
硬筆六年														
★特待生														
★九段														
★八段														
★七段														
★六段														
★五段														
★四段														
★三段														
★二段														
★一段														
硬筆五年														
★八段														
★七段														
★六段														
★五段														
★四段														
★三段														
★二段														
★初段														
硬筆四年														
★七段														
★六段														
★五段														
★四段														
★三段														
★二段														
★一段														

筆・硯・墨・古法帖・墨液・画仙紙
書道用具萬般乞来店

(株) 818 百 齋

高知市南宝永町14-18
TEL (代) (882) 1394番
夜間・TEL (882) 1392番

★初段	大谷北 大木陽智 長岡 西内明利 長岡 小笠原湊 越知 大原ほか 吾桑 笹岡蒼馬 吾桑 宮崎穂花	★一級	池川 北村日和 池川 片岡亜李紗	★三級	久礼 ○堀田瑛太 奈路 植野 新	★六級	久礼 ○西村波琉 上分 ○中山結愛	硬筆三年 こうみつ	審査 野中 恵花	★五段	須崎 毛利香花 浦ノ内 正木芳尚 須南 西村太希
★四段	須崎 田村紗雪	★三段	江ノ口 下村亜弥衣 浦ノ内 池田理人 浦ノ内 藤田彩葉 上分 梅原未来 浦ノ内 森田瑞貴	★二段	長岡 押岡息吹 越知 藤崎華乃 岡豊 島村心遥 長岡 竹内伽菜心 多ノ郷 森光梨衣奈 多ノ郷 坂本大和 久礼 蔵下夏愛 多ノ郷 太田朋希 長岡 宮脇治太	★初段	上分 片山ひまり 久礼 松山愛凛 久礼 吉原綾人 上分 日林ゆあ 長岡 猪野光騎 吾桑 長山優奈	★一級	久礼 黒原小春		
★八級	長岡 ○澤村かな 浦ノ内 ○森田海音	こうひつ二年	審査 小川 理香	★三段	★二段	★初段	浦ノ内 山岡みずき 浦ノ内 徳永準斗 朝倉 根心花 浦ノ内 岡林ゆい花 久礼 黒原りか しんじょう 中じまあやと 上分 はし田一か	★一級	池川 上村心晴 池川 下谷ことは 池川 片岡紗雪 池川 伊藤日向		
池川 北村心暖	★二級	岡豊 ○中司みのり 久礼 ○政岡ゆみ 長岡 ○安井 颯 奈路 ○植野 葵	★三級	岡豊 ○島村昇牙 吾桑 ○鈴木 花 須崎 谷口きずな	★四級	★七級	久礼 ○小林なほ 久礼 ○近藤みのり 久礼 ○いわせわたる	★八級	上分 ○大内ゆずの	★十級	久礼 ○加茂みやび 吾桑 ○宮崎はるか
★新規	十級編入 長岡 村上こゆ 吾桑 堅田あやの	こうひつ一年	審査 石川 美水	★二段	吾桑 松坂望未 吾桑 梅原由菜	★初段	多ノ郷 坂本美咲 浦ノ内 吉岡まひろ	★一級	浦ノ内 宮田いと 附属 江頭 航	★七級	久礼 ○森岡べに
久礼 ○黒原あお	★十級	浦ノ内 ○てら内かのん 高岡 ○隅田しゅう 越知 ○井上めい 久礼 ○奈路かなえ	こうひつ ようち・ほいく	★一級	審査 石川 美水	★四級	須崎 ○こんどうこな ふたば ○後藤和葉				

第六十七回 龍跳展入賞作品について

(審査…福原・廣末・野島・塚地・武内・梅川) (コメント…福原・梅川)

龍跳賞 大原 桂園君 躍動感のある堂々とした作品。

幽玄齊賞 堅田 清園君 丸い線質にて爽やかに運筆されている。

湖筆堂賞 西山 極山君 運筆の緩急・潤滑を加味した努力作。

優秀賞 (順不同)

西森 令泉君 大きな動きのある作品、師の書き振りが偲ばれます。

大石 千施君 古典の様に思われる、リズムある慎重な作品。

大崎 花梢君 墨量潤滑を重点に気を配り、リズムよく動いてはいるが縦線ばかりが少し残念である。

西内 仁子君 線の大小と筆圧の変化があり、伸びやかで良い。

岩谷 紅花君 まじめな書きぶり、几帳面さが作品に表れている。

山本 恵歩君 優しい流れでまとめている、重厚な線が欲しいなあ。

萩野 羽花君 朴な感じの線質で飄々として味がある。

石川 美水君 文字の大小は意識されているが、両行の響きあい欲しい。

池 芳春君 よく流れている、やや線の硬さがある。

新人賞 山本 心春君 一点一画強靱な線、筆致が魅力的で新鮮です。

受賞者の皆様、おめでとうございます。

第六十七回 龍跳展にご芳志を賜りありがとうございました。

幽玄齊様
湖筆堂様
久保田號様
一休園様

(出品票)	
のり代	
6年 月 筆	
9 月 筆	
毛 筆	
校 名	
保 学 年	
年	
氏 名	
段 級	

のり代	
6年 月 筆	
9 月 筆	
硬 筆	
校 名	
氏 名	
段 級	

中国文房四宝
中国産書道用品
久保田号銘筆

有限会社 湖筆堂

〒780-0818 高知市宝永町3-3
TEL (088) 882-1454
FAX (088) 884-7413

第67回 龍跳展「学童の部」入賞者

毛筆の部

会長賞 朝ヶ丘 中学3年 黄之瀬風
優秀賞 南 " 竹内雄星

" 朝ヶ丘 中学2年 橋田茉奈

" 上分 中学1年 西森美陽

" 多ノ郷 小学6年 森光陽菜

" 長岡 小学5年 宮脇改太

" " 小学4年 小笠原湊

" 多ノ郷 小学3年 森光梨衣奈

" 新莊 小学2年 中島あやと

" 吾桑 小学1年 梅原由茉

努力賞 岡豊 小学5年 中司こころ

" " 小学3年 島村心遥

硬筆の部

会長賞 多ノ郷 小学6年 森光陽菜

優秀賞 大谷北 " 倉持陽向

" 上分 小学5年 梅原百叶

" 長岡 小学4年 森田実咲

" 須崎 小学3年 池田理人

" " 小学2年 金堂すず

" 浦ノ内 小学1年 よしおかまひろ

" 上分 小学1年 なかじまゆいと

【認定証について】

昇段、昇級された方で認定証が入用の方は、左記によりお申し込み下さい。

記

★師 範 三千円

★準師範以下一般 二千円

★学 生 一千円

(注意 申込時左記事項を必ずお知らせ下さい。)

① 昇段の年月日

② 学生は学校名と学年

③ 一般は市町村名

(申込先) ご希望の先生に要項を明記した文書で

直接お申し込み下さい。

〒七八一七四二二

安芸郡東洋町河内三〇四

龍跳書道会 福原暁雲

〒七八一一三〇一

高岡郡越知町越知甲二二一七一六

龍跳書道会 梅川桂龍

お 知 ら せ

龍跳誌郵送料の改定について

10月から郵便局の郵送料が大幅に引き上げられます。
よって、龍跳誌の送料を次のとおり改訂します。

会費は変更ありません。（1 か月 500円、半年分 3,000円、1 年分 6,000円）

21冊以上は次の計算による。

〈例〉

1ヶ月の龍跳誌郵送料（変更後）

①	1冊	180円
②	2冊～7冊	210円
③	8冊～20冊	430円

21冊 $\text{㉑} + \text{㉒} = 610\text{円} \times \text{月数}$

22冊～27冊 $\text{㉑} + \text{㉓} = 640\text{円} \times \text{月数}$

28冊～40冊 $\text{㉑} \times 2 = 860\text{円} \times \text{月数}$

50冊の場合 $\text{㉑} \times 3 = 1,290\text{円} \times \text{月数}$

改定の時期 令和6年10月1日（11月号）からすでに前納頂いている方も対象とし、
後日、本会から不足金額の明細書を送付します。

不足金は、次回本代支払いの時に、合わせて納入頂いてかまいません。
誌代切れ通知の際に、再度連絡します。

昇段試験に関する件

○受験料は期日（八月二十九日）

迄に 口座に振込んで下さい。

○受験作品及び受験料の審査会場

での受付は、審査日（九月一日）当日の八時三十分～九時までです。

時間、厳守して下さい。

○昇段試験「申し込み内訳表」は
正しく書いて 作品に添付して
下さい。

秋季昇段級試験作品募集

▽師範の部 (受験資格・本会準師範位に限る)

。課題

雨後江上緑 客悲隨眼新

桃花十里影 搖蕩一江春

雨後 江上の緑／客悲 眼に隨つて新たり／桃花 十里の影

／揺蕩す 一江の春

。右の詩句を小画仙半折に隸、楷、行草体の三枚と一ページ鐘繇宣示表より、十二文字以上を節臨して計四点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで姓号を明記すること。

。当選者は本会師範に推挙する。

▽第一部 (受験資格 一般部段位、級位の者)

。課題

獨出門前望野田 月明蕎麥花如雪

ひとり門前に出でて野田を望めば／月明らかにして 蕎麥の花 雪の如し

。右の詩句を小画仙半折に楷、行草体の二枚と一ページ鐘繇宣示表より、十二文字以上を節臨して計三点出品のこと。

。作品は無落款とし、作品毎に裏面左下にエンピツで現段級と姓号を明記すること。

。当選者は準師範以下相当段位に認定編入する。

▽第二部 (受験資格 一般部級位の者)

。課題

長門蝶舞多

長門 蝶舞多し

。上記を楷、行、草の三体を半紙三枚出品のこと。
。作品を楷、行、草の順に縦に貼つぎすること。
。作品は無落款とし、作品裏面左下にエンピツで現級位と氏名を明記すること。
。当選者は初段以下相当段級位に認定編入する。

△出品料 師範部・八千円／第一部・六千円／第二部・四千円

(作品と同時に納入してください)

師範参考手本は本会役員は書かない。

第一、二部参考手本を希望される人は本会役員に直接申込んで下さい。潤筆料は条幅三点につき一万五千元、半紙三点につき五千元。

▽学生・学童の部 (毛筆部)

課題字句「龍跳」七月号掲載(七月二十日締切)の課題字句とします。

。規格は半紙。一人一点とします。

。書体は自由です。

。作品の裏にエンピツで学年と段級位・氏名を書くこと。(段位は漢数字、級位はアラビア数字で) 作品の表には絶対に書いてはいけません。

。出品料 五百円

▽硬筆作品

。課題の文字は龍跳七月号(七月二十日締切)の課題字句とします。

。それぞれの学年に応じた硬筆用紙に規定の字句、学年段級位、氏名を正しく書いて出品してください。

。段位は漢数字、級位はアラビア数字でハッキリ記入のこと。

。出品料 五百円

※出品作及び受験料を審査当日、会場に持ち込む場合は、八時三十分～九時迄の受付です。

△作品の締切 令和六年八月二十九日(木) 必着のこと。

△審査日時 令和六年九月一日(日) 午前九時三十分より

△審査場所 高知城ホール

△受験作品送付先 千七百三十一〇八二 南国市片山四九〇 西山極山 宛

③ 封筒表に「昇試作品在中」と明記すること

春・秋・季 昇段(級)試験申し込み内訳表

申込者氏名

	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
師範の部 (春季のみ)	8000円	点	円	現金・為替・振込み
第一 部	6000円	点	円	現金・為替・振込み
第二 部	4000円	点	円	現金・為替・振込み
学生・学童の部	出 品 料	点 数	金 額	払い込み方法 (いずれかを○で囲む)
毛 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
硬 筆	500円	点	円	現金・為替・振込み
合計金額			円	

※ 昇試作品に上記内訳表を必ず添付して下さい。 ※グループで送られる方は合計点数で記入して下さい。

※ 師範の部は4体、第1部・第2部は3体を「1点」として下さい。

連絡・問い合わせ・送り先等

・新規入会申込と会費の送金先

・「龍跳誌」冊数変更の通知先

〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎一三三一

隅田亘心

龍跳誌

〒781-1501

電話(〇八八九) 三五〇九七一番

・月例作品の送り先

〒783-0081 南国市片山四九〇

西山極山

電話(〇八八) 八六五―八八五七番

・「龍跳誌」の内容について

〒781-7412 安芸郡東洋町河内三〇四

福原 曉雲

電話(〇八八七) 二九―二六五〇番

・編集についての連絡先

〒785-0010 須崎市鍛冶町六―八

江西 澄翠

電話(〇八八九) 四二―三〇六七番

・送本についての連絡先

(冊数の相違等については当方へご連絡下さい。)

〒785-0055 須崎市大谷二〇四

野中 恵花

電話(〇八八九) 四七―〇七二一番

あとがき

第六十七回龍跳書展を子ども達の作品を加え一新することに計画変更を行った。これには子ども達の作品は隅田亘心さんの緻密な企画中心と会員さんの手伝いを頂き、結果すごく活気で新鮮な書展であったと大変嬉しく思っております。有難うございました。

ただ少し残念だったのが梅雨の時期で天気が悪かったこと。書道関係鑑賞者の方々がやや少なかった点が惜しまれた。

また、これからの行事日程等について六年九月一日(日)龍跳秋季昇段級試験が近づいてきていますので、是非挑戦をして下さい。一番勉強になります。誤字には特に御注意下さい。

各地方展・県展等への挑戦、また鑑賞等に足を運び、共に頑張ろうではありませんか。

月例競書課題

部 別	締切日	
	九月二十日 締切	十月二十日 締切
一般条幅	任 意	任 意
半紙規定	別離已昨日	因見古人情
半紙随意	任 意	任 意
中学三年	言語表現 試験問題	
" 二年	理路整然	
" 一年	科学技術	空前絶後
小学六年	体育大会	出発進行
" 五年	足音高し	天空の里
" 四年	秋の山	楽しい本
" 三年	夕日	木立
" 二年	むし	おに
" 一年	そばく	さ
保 育		

会 費 の 送 金 に つ い て

会 費 : 半年分 3,000円 / 1 年分 6,000円

1 ヶ月の龍跳誌郵送料

(幸便搬送の方は〒料不要)

11 冊以上は次の計算による。(1 ヶ月分)

①	1 冊～3 冊	80 円
②	4 冊～8 冊	150 円
③	9 冊・10 冊	210 円

〈例〉 12 冊 ①+②= 290 円×月数

17 冊 ①+③= 360 円× "

30 冊 ③×3 = 630 円× "

◎会費と龍跳誌〒料は原則として半年分または1 年分前納のこと。

◎送金は次の何れかへ

- ・〒781-1501 吾川郡仁淀川町大崎133-1 隅田亘心
- ・振替口座番号 01690-3-31925 龍跳書道会

(お問い合わせ) ☎0889-35-0971

○月号 (○冊) より○月号まで○ヶ月分
誌代 ○円 / 〒料 ○円

と記入のこと。

編集室

福原 曉 雲

野 島 桂 山

江 西 澄 翠

中 平 美 峰

発行人

福原 曉 雲 (本部)

安芸郡東洋町河内三〇四

電話 (〇八八七) 二九一二六五〇

発行所

龍跳書道会

電話 (〇八八七) 二九一二六五〇

印刷所

(有)笹岡印刷所

須崎市東古市町二一六

電話 (〇八八七) 四二二〇二四四

月例作品送り先

〒783-0081 南州市片山四九〇

西山極山 宛

電話 (〇八八七) 86518857